

平成 19 年度

図書館年報



大阪狭山市立図書館

指定管理者 (株)図書館流通センター

目次

館の沿革	2
施設・サービス概要	3
指定管理者概要・沿革	4
1年の活動	5
統計	7
資料展示	10
レファレンス事例	12
WEB サイト・ブログ	13
ボランティア活動内容	14
行事	16
研修実績	18
受入新聞・雑誌一覧	20
条例・規則等	24

館の沿革

昭和	28年(1953年)	5月1日	狭山町立図書館が狭山町立公民館(池尻)2階に開館
	52年(1977年)	5月10日	現在の場所に狭山町立図書館新館開館 823 m ² 図書館システム導入
	53年(1978年)	4月	自動車文庫「さやま号」巡回開始 貸出冊数上限を3冊から5冊に変更
	58年(1983年)	12月	図書館システム更新
	59年(1984年)	10月	全国図書館大会 日本図書館協会から施設表彰
	60年(1985年)	3月	一般・児童閲覧室増設(現在の一般閲覧室・参考資料室にあたる)120 m ² 計944 m ²
	62年(1987年)	10月1日	市制施行 大阪狭山市立図書館と名称変更
	63年(1988年)	12月	利用者用検索機2台導入
平成	3年(1991年)	1月	自動車文庫新車両に(積載冊数3千冊 4千冊)
	4年(1992年)	4月2日	児童閲覧室増設 457 m ² 計1,401 m ² 1階に駐車場を設置 それまでの児童書コーナーを参考資料室に変更
	8年(1996年)	10月	図書宅配サービス開始
	14年(2002年)	9月30日	WEBサイト開設
	15年(2003年)	4月	ブックスタート開始
	16年(2004年)	6月3日	WEB予約開始
		4月	自動車文庫休止
	17年(2005年)	4月1日	貸出冊数上限を5冊から10冊に変更
	19年(2007年)	4月1日	株式会社図書館流通センターが指定管理者として運営開始
		11月1日	WEBサイトリニューアル、サイト内に「こども読書クラブ」開設
11月		ブックスタートフォローアップ事業開始	
20年(2008年)	1月	図書館ブログ開始	

施設・サービス概要

施設概要

名 称	大阪狭山市立図書館
所 在 地	〒589-0012 大阪狭山市今熊一丁目 106 番 TEL:072-366-0071 FAX:072-366-0052
開 館	昭和 52 年(1977 年)5 月 10 日
建物構造	鉄筋コンクリート造 2 階建(公民館併設)
敷地面積	5,238 m ² (公民館含む)
建築面積	1,024 m ² (図書館のみ)
延床面積	1,401 m ² (図書館のみ)

主な施設内容

1F	児童書庫 64 m ² 、一般書庫 42 m ² 、休憩室 12 m ²
2F	一般閲覧室 270 m ² 、児童閲覧室 410 m ² 、参考資料室 195 m ² 、 おはなしの部屋 27 m ² 、事務室 63 m ² 、倉庫 22 m ²
駐車場 (公民館と共用)	第 1 駐車場 60 台収容、第 2 駐車場 30 台収容、 身体障がい者用駐車スペース 3 台収容、駐輪場(公民館と共用)30 台収容、 屋外正面階段及びスロープ部分約 800 m ²

サービス概要

開 館	9 時 ~ 20 時
休 館	月末 (ただし土、日、祝日にあたる場合は開館) 年末年始(12 月 29 日 ~ 1 月 4 日)
特別整理 期 間	7 日間
年間開館 日 数	345 日
貸 出	10 冊 2 週間、市内在住・在勤・在学者
カウンター	一般と児童に設置

スタッフ構成

館長	チーフ	サブチーフ	サブチーフ補	スタッフ	計
1	1	1	1	12	16

指定管理者概要・沿革

概要

名 称	株式会社図書館流通センター
設 立	昭和 54 年 (1979 年) 12 月 20 日
資 本 金	2 億 6605 万円
売 上 高	315 億 2648 万円(2008 年 3 月期)
従 業 員 数	265 名(男 134・女 131)(2008 年 6 月期)
図書館スタッフ数	1,280 名 (2008 年 3 月期) 公共図書館は 108 館
代表取締役会長	石井 昭
代表取締役社長	谷一 文子(サポート事業担当兼任)
本 社	〒112-8632 東京都文京区大塚 3 丁目 4 番 7 号 TEL:03-3943-2221(代表)

沿革

昭和 54 年(1979 年)	株式会社図書館流通センター設立
昭和 57 年(1982 年)	TRC MARC 発売開始
平成元年(1989 年)	新刊書在庫システム「ストックブックス(SB)」運用開始
平成 2 年(1990 年)	図書在庫センター「新座ブックナリー」開設
平成 8 年(1996 年)	福岡市総合図書館運営業務委託開始
平成 11 年(1999 年)	新図書在庫・装備センター「志木ブックナリー」開設
平成 12 年(2000 年)	オンライン書店「bk1」(ビーケーワン)設立
平成 13 年(2001 年)	図書館専用インターネットサービス「TOOLi」(ツールアイ)運用開始
平成 14 年(2002 年)	株式会社 TRC サポート&サービス設立
平成 15 年(2003 年)	TRC 図書館専用 IC システム提供開始
平成 16 年(2004 年)	国内初の PFI 図書館「桑名市立中央図書館」開館(運営部門を担当)
平成 17 年(2005 年)	国内初の本格的な指定管理者制度導入館「北九州市立図書館」(門司図書館ほか 2 館)の業務開始 プライバシーマーク取得
平成 18 年(2006 年)	筑波大学大学院に「図書館経営管理コース」として図書館経営寄附講座を開講 岩手県立図書館(指定管理者)の業務開始 株式会社図書館流通センターに株式会社 TRC サポート&サービスと株式会社ビーケーワンを合併
平成 19 年(2007 年)	大阪狭山市立図書館(指定管理者)の業務開始。 平成 21 年度まで 3 年間の協定。 次代を担う図書館スタッフ育成の場として「ライブラリーアカデミー®」開講

1年の活動

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・1日より株式会社図書館流通センターが大阪狭山市立図書館の指定管理者として管理・運営を開始。期間は平成22年3月までの3年間。 ・変更、新規実施は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 開館時間の延長: 10時～17時15分 9時～20時 雑誌の追加: 30誌の追加 書架の変更: 棚数7段 6段、書架見出し設置 新聞の変更: 重い金属ホルダー ホッチキス留め 図書館だより創刊: 以後毎月1日発行 新聞記事（受賞や死亡等）に合わせ小展示を開始 投書箱の設置 図書受入時の蔵書印、日付印、バーコードナンバー記入を中止。 新刊配架のスピードアップをはかり、図書発注から配架まで約10日間とした。 督促を通常業務化。長期延滞者へは葉書送付。 ・5日ブックスタート(市指定事業)。40人参加。 毎月第一木曜、保健センターでの4か月健診時に開催。 ・おはなし会実施（市指定事業）月2回。以降1年間で全39回実施、274人参加。 ・南第二小学校図書館見学(3年生82名)。以降市内小学校5校が実施。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・変更、新規実施は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ホームページリニューアル作業の着手 予約・リクエスト申込書の書式変更 旅行ガイドをシリーズ別から地域別に並べ替え 大阪市立図書館との相互貸借開始 ・31日運営後初の休館日。スタッフミーティング。 講師によるおはなし会・MARC・TOOLi（図書館向け検索・発注システム）の研修実施。 机等で塞がれていた参考資料室入口を開放。自由に出入りできるように変更。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館システム導入から丸5年経過し、この月から端末が続々と故障し始める。 ・児童電動書庫修理。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の発案でおはなし会を月2回から4回に増やす。 ・彦根市視察。 ・南河内地区社会教育振興協議会図書館部会がSAYAKAホールで開催される。 「行政とともに 市民のための公共施設」のタイトルで発表。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーワーク学習応援隊(夏休み宿題支援)実施。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・30日まで教育委員会と共催で図書館管理運営についての利用者アンケート実施。 261標本を回収。 ・「ばばたきフェスタ」（公民館にて開催）に「とび出す絵本展」を出展。 ・救命講習（大阪狭山市消防本部開催）1名参加。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・製本講習会開催(提案事業)。12月までに計3回。講師はキハラ株式会社から招聘。 ・消防訓練実施。公民館、郷土資料館との合同開催。 ・連絡便にて富田林市、河内長野市、堺市、和泉市との相互貸借開始。

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイトリニューアル。 ・4 か月児のブックスタートをフォローする「ブックスタートフォローアップ事業」を開始。対象は 10 か月児。読み聞かせをし、4 種類から希望の本を 1 冊贈る。当月で 37 人に実施、保護者を含め 43 人が新規利用登録。 ・複数の新刊雑誌が不明に。それらの最新号はカウンター内に別置することに。 ・DVD『青空文庫』を複製し、希望者に配布。約 20 名。 ・駐車場入口の汚水管が二度にわたり溢れた。 ・身体障がい者用駐車場舗装修繕。 ・図書館総合展(横浜市)参加。TRC ブースで館の運営について発表。パネル掲示あり。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県播磨町立図書館 (TRC 指定管理館) を視察、フォーラム参加。 ・22 日講談社全国訪問おはなし隊 (キャラバンカー) 来館。寒い雨のなか、子ども 38 名、大人 19 名の参加。
平成 20 年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ブログ開始。 ・ストーリーテリング入門講座開催(指定事業)。2月まで計 5 回、延べ 44 名参加。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・25 日から 3 月 2 日まで蔵書点検により休館。 ・休館中に一般カウンターの位置を変更し、業務端末移動工事。同時にカウンター周りのレイアウトを変更し、閲覧席を増設。 ・利用者用インターネット端末を 2 台新設(サービスは翌年度 4 月開始)。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練実施。19 年度 2 回目。公民館、郷土資料館との合同開催。 ・浦安市視察。



旧カウンター(～2月)



新カウンター(3月～)



図書館総合展(パシフィコ横浜)
11月7日(水)～11月9日(金)



統計

資料購入実績（単位：円）

資料費	11,500,000
図書	9,740,038
雑誌	921,816
新聞、官報等	838,146

蔵書構成

	一般	児童	YA	参考	雑誌	AV	合計
冊数	92,626	97,012	3,037	12,590	3,095	175	208,535
構成比	44.4%	46.5%	1.5%	6%	1.5%	0.1%	100%

AV 資料はすべて寄贈による。

分類別構成（単位：冊）

	一般	児童	YA	参考
0 類総記	1,959	733	24	1,310
1 類哲学	3,079	373	49	266
2 類歴史	9,247	2,486	77	1,131
3 類社会	10,610	2,327	116	3,576
4 類自然	5,104	7,162	102	669
5 類技術	7,067	1,659	41	633
6 類産業	2,818	963	11	455
7 類芸術	7,047	2,978	77	410
8 類言語	1,447	549	48	342
9 類文学	41,659	31,588	2,369	477
大活字	283			
漫画	1,446	730		
洋書	404	264		
大阪狭山の本	86			587
全国郷土史				2,734
絵本		40,233	123	
紙芝居		3,776		
子育て	370	1,191		

蔵書冊数推移（単位：冊）

1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
137,932	144,730	150,914	156,972	165,177	178,439	186,437	192,070	208,535

貸出冊数（付録は除く）

一般	児童	YA	参考資料	雑誌	AV	合計
207,903	173,619	5,017	15	13,529	8	400,091
52%	43.4%	1.3%	0%	3.4%	0%	100%

利用状況

	新規登録者数	入館者数	貸出人数	貸出冊数	うち団体貸出冊数
4月	143	15,191	6,655	30,384	1,031
5月	167	17,607	7,369	32,658	1,292
6月	99	18,167	7,654	34,624	1,297
7月	155	20,788	7,955	36,921	2,078
8月	188	23,662	8,239	36,675	1,302
9月	113	21,923	7,957	36,322	1,454
10月	114	18,546	7,388	33,997	1,566
11月	142	17,153	7,238	33,509	1,465
12月	101	15,840	6,561	29,895	835
1月	88	16,606	6,971	31,856	1,666
2月	118	15,842	7,056	31,705	1,341
3月	130	17,057	7,079	33,040	1,235
合計	1,558	218,382	88,122	401,586	16,562
18年度	1,431	統計なし	79,662	348,840	9,210
19/18比率	109%	-	110%	115%	180%

利用状況

	予約受付件数	うちWEB予約	リクエスト件数	レファレンス件数
4月	1,721	981	38	268
5月	1,899	1,101	95	312
6月	1,693	931	98	285
7月	1,653	909	73	487
8月	2,373	1,376	91	597
9月	2,278	1,276	79	440
10月	2,166	1,235	69	428
11月	1,748	1,014	77	421
12月	1,659	962	44	387
1月	1,578	884	75	356
2月	1,415	821	86	459
3月	1,717	962	80	526
合計	21,900	12,451	905	4,966
18年度	16,919	8,215	統計なし	統計なし
19/18比率	126%	147%	-	-

利用状況

	相互貸借 貸出件数	相互貸借 借受件数	複写サービス 枚数	ブックスタート フォローアップ人数	督促件数
4月	38	173	1,213	-	未実施
5月	23	234	836	-	525
6月	47	269	1,222	-	489
7月	33	269	1,268	-	481
8月	33	178	2,198	-	914
9月	30	287	1,528	-	657
10月	45	232	1,170	-	700
11月	32	201	1,742	37	684
12月	33	249	2,606	16	641
1月	92	186	1,171	10	494
2月	51	223	1,281	12	472
3月	50	269	1,223	17	564
合計	507	2,770	17,458	92	6,621
18年度	292	1,923	統計なし	未実施	統計なし
19/18比率	174%	144%	-	-	-

ブックスタートフォローアップ事業は平成19年11月から開始。

サービス指標

人口(人)	58,180
蔵書冊数(冊)	208,535
登録者数(人)	31,509
貸出冊数(冊)	400,091
資料費(円)	11,500,000
人口1人あたり貸出冊数(冊) (貸出冊数÷人口)	6.9
登録率(%) (登録者数÷人口)	54.2
登録者1人あたり貸出冊数(冊) (貸出冊数÷登録者数)	12.7
蔵書回転率(冊) (貸出冊数÷蔵書冊数)	1.9
人口一人当たり資料費(円) (資料費÷人口)	197.7
人口一人当たり蔵書数(冊) (蔵書冊数÷人口)	3.6

資料展示

一般資料展示

月	月別テーマ展示	個別展示
4 月		石井桃子、花言葉、はだしのゲンをタイ語に、人生リセット図書館で、中学生日記、沖縄ノート、星の王子さま日本で道草？、手塚治虫
5 月	2006～2007年に映像化された書籍	城山文学に学んだ、藤原伊織死去、敬語、使えますか？、田辺聖子文学館、池宮彰一郎死去、与謝野晶子没後65年、キトラ古墳・黛まどかさん、大庭みな子死去、北杜夫
6 月	雨の日特集	ヤンキー先生&夜回り先生
7 月	もうすぐ夏休み！！ 海へ！川へ！山へ！	星と星座のミステリアス・ナイト、食の安全、からだの健康、河合隼雄死去、芥川賞・直木賞過去5年受賞作品
8 月	戦争	涼しい冷たい特集、阿久悠死去、西村寿行死去
9 月	これからの人生に読みたい本	ファンタジーノベル特集
10 月	スポーツの秋	写真集&画集、ゴア元副大統領ノーベル平和賞受賞、黒川紀章(建築家)死去、打海文三(作家)死去
11 月	日本について考えてみませんか？	ブックガイド(秋の読書週間)、人権について(人権週間)
12 月	年末年始に役立つ1冊！	横溝正史ミステリ大賞、忠臣蔵
1 月	防災	鹿鳴館、芥川賞・直木賞候補作品、大河ドラマ原作本特集
2 月	新書特集(8類:ことばに関する本)	バレンタイン特集 冬 高野裕美子
3 月	春からの新生活に役立つ1冊	2007年映像化作品 新書特集(7類:芸術に関する本) 内田康夫ミステリー大賞受賞 アーサー・C・クラーク 赤川次郎

児童資料展示

月	月別テーマ展示	個別展示
4月	いのち(子どもの読書週間)	
5月	外国 地球丸ごと出かけてみよう見てみよう	こどもの日、母の日、 新聞記事展示(角野栄子)、 新聞記事展示(松谷みよこ)
6月	雨 うっとうしい梅雨空も楽しく過ごそう	父の日
7月	生きることについて考え始めた君へ 夏休み！工作自由研究大作戦	ねずみ君の絵本、 カッパ、海の生き物
8月	せんそうとへいわ	わくわくなつやすみ おばけの絵本、こわいお話
9月	おつきみ ウサギとお月様の絵本	秋の夜長に名作を、食育
10月	虫の絵本	ハロウィーン、きつね、おおかみ
11月	荒井良二の本 人権週間	ファンタジーの本、ねむりのほん
12月	クリスマス	ゆくとしくるとし
1月	冬の本	節分・鬼の本、くまのえほん
2月	ねこのほん	バレンタイン
3月	はるのほん	おんがくの本

YA資料展示

月	テーマ	内容
10月	十二国記物語	「十二国記物語」小野不由美 著 小説・アニメ版コミックス(講談社刊)
11月	ミステリーYA!	理論社のミステリーYA! 「タイムカプセル」「ルビアン秘密」「水銀奇譚」
12月	よみちパン！セ	寄り道こそ、人生の本道だ！ 「オンナらしさ入門(笑)」「さびしさの授業」 「コドモであり続けるためのスキル」
1月	「はじめての文学」シリーズ	文学の親しみ、人生を豊かにするための最初の一步になるようにと作られたシリーズ 「村上春樹」「山田詠美」
2月	乙女と隠れ腐女子のための 読書案内	腐女子読み、乙女読み 「少年舞妓」シリーズ 「西の善き魔女」 参考:「活字倶楽部」2007年秋号
3月	わちふいーど	わちふいーどを舞台にした絵本や料理本

レファレンス事例

受け付けたもののうち、調査に時間を要したものを示す。

質問	回答
<p>「カタギリタンゲン」について調べたい。 狭山池に関係した人物である。</p>	<p>「カタギリタンゲン」 片桐且元(かたぎりかつもと)のことで、江戸幕府の摂河泉の国奉行。慶長 13 年に狭山池改修の奉行をした。 参考資料:「国史大辞典」「日本人名大事典」「日本人物辞典」「近世を拓いた土木技術」</p>
<p>富山の親戚の庭に生えている木の名前と、木に成っている実の毒の有無を知りたい。 秋に赤い実ができ、春先に白い花を咲かす(実物もあり)。</p>	<p>「コブシ」という木。蕾には芳香があり、煎じて頭痛・鼻炎に用いられる。毒はなし。春先に花を咲かすことから田植の目安とされた。 参考資料:「樹木大図鑑」「園芸植物大事典」</p>
<p>江戸時代の狭山藩の藩主や奥さんの名前が知りたい。</p>	<p>「三百藩藩主人名事典 3」にあり。「狭山町史 1」「狭山と北条氏」には家系図があった。「日本史諸家系図人名辞典」には北条氏の略年譜があった。</p>
<p>家紋を写した写真が不鮮明なので、はっきり紋様がわかる資料が見たい。</p>	<p>「都道府県別姓氏家紋大事典 東日本編」の日本の代表家紋 700 の中にあり。名称は「対い蝶」であった。紋様(頭の形、羽の模様、背の筋)が全て写真と合致した。他の参考資料は少し違っていた。 参考資料:「家紋」「続家紋でたどるあなたの家系」「紋章とシンボル」「日本家紋総覧」</p>
<p>自宅の本を修理してくれる業者を教えてください。</p>	<p>製本講習会で講師をお願いしたキハラ株式会社大阪支店に問い合わせると、できるとの回答。ナカバヤシ株式会社大阪支店にも問い合わせ、同様の回答を得た。</p>
<p>1 か月くらい前(受付は平成 19 年 4 月 4 日)、講演会で有名な建築家が狭山池の桜の植樹を推進していると言っていたので、賛同したい。パンフレットが残っていたら欲しい。</p>	<p>有名な建築家は狭山池博物館を設計した安藤忠雄であることが判明したが、パンフレット類は館内になし。市に問い合わせると、公園緑地グループより「パンフレットの打ち出しならできるが、すぐには無理」と言われたので、狭山池博物館に電話。1 枚だけ残っており、質問者の自宅に FAX してくれた。</p>
<p>立杭焼は何年頃から始まったか。 また、どんな流れがあるのか。</p>	<p>「文化財探訪クラブ 10」:くわしい編年はまだ十分に解明されていない。 「西日本 やきものの旅」:始まりはなし。 「角川日本陶器大辞典」:桃山時代。</p>

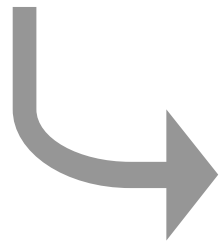
WEB サイト・ブログ

平成 19 年 11 月 図書館情報をわかりやすく提供するために、WEB サイトを改訂。
改訂に加えて、「こども読書クラブ」を新設。児童に向けた図書館利用案内、おすすめ本紹介等を公開。



旧 WEB サイト

新 WEB サイト



平成 20 年 1 月 より親近感のある図書館づくりをめざして、「図書館ブログ」を開設。



- 更新内容
- 新着書紹介
 - おすすめ本紹介
 - 資料展示案内
 - おはなし会報告
 - イベント報告
 - その他雑記など

ボランティア活動内容

さやまおはなしの会

昭和 58 年 4 月に、こどもの本と関わる人たちが集まり「こどもの本の会」としてスタート。

昭和 63 年 4 月に多くの人たちにおはなしを届けようと「さやまおはなしの会」に改名(『さやまおはなしの会 20 年のあゆみ』より)。メンバーは 26 人。図書館・保育園・小学校におはなしを届ける。市のイベントにも積極的に参加し、活動の場を広げている。

おはなし会(定期)

図書館	毎週日曜日
図書館・季節のおはなし会	年 4 回
きらり保育園	第 4 火曜日
西小学校(放課後児童会)	第 2 水曜日
こども園	月 1 回

学校おはなし会

西小学校	10/3	1~6 年生	6 クラス
北小学校	12/7	1~6 年生	6 クラス
南第一小学校	11/9	1~6 年生	6 クラス
南第三小学校	11/26	1~6 年生	6 クラス

おはなし会(単発)

子育て支援センター1周年記念行事(おはなし会)	10/16
さやま芸術祭(絵本展&おはなし会)	11/11

その他

子育て講座(講師派遣&保育)	11/20 12/11 1/15
図書館・製本講習会 受講	10/13 11/17
はばたきフェスタ「とびたす絵本」ボランティア	9/8

ふきのとう

平成6年4月1日に7人で発足。図書館・幼稚園・小学校へおはなしを届けるボランティア活動をしている。また、ブックスタート事業の手伝いやストーリーテリング入門講座の講師、小学生向けにブックトークなども行っている。現在は13人のメンバーで勉強会を定期的に行い、交流を深めている。

おはなし会(定期)

図書館	南第二幼稚園	東野幼稚園	西幼稚園	東幼稚園	子ども園	半田幼稚園
毎週木曜日	第2金曜日	第3水曜日	第4火曜日	第4水曜日	第4月曜日	第3金曜日

おはなし会(単発)

西幼稚園(子育て支援)	7/3 10/16
南第二幼稚園(未終園児)	6/12 9/11 10/9
東野幼稚園(ニコニコクラブ)	6/20 7/18 9/19 10/17 11/14 12/19 1/16 2/20
半田幼稚園(未終園児)	10/26 1/25

学校おはなし会

第七小学校	6/29	1-2年生	各3クラス
北小学校	7/4	1年生	3クラス
南第二小学校	7/13	1年生	3クラス
南第二小学校	9/29	1-2年生	6クラス
西小学校	10/3	1-6年生	13クラス
南第二小学校	10/19	1-2年生	各3クラス
東小学校	10/24	1-2年生	各4クラス
南第一小学校	11/9	1-6年生	6クラス
東小学校	11/20	1-2年生	各4クラス

南第三小学校	11/26	1-6年生	6クラス
北小学校	12/7	1-6年生	13クラス
第七小学校	12/12	3-4年生	各3クラス
東小学校	2/18	1-2年生	各4クラス
第七小学校	2/27	2-4年生	各3クラス
南第二小学校	2/29	1-3年生	各3クラス
第七小学校	3/5	1年生	3クラス
西小学校	3/12	3年生	3クラス

のべ17校、116クラス

その他

ブックスタート事業	第1木曜日
はばたきフェスタ「とびたす絵本」お手伝い	9/8
西小学校三都まつり(絵本の展示と読み聞かせ講習)	11/18
図書館・製本講習会 受講	11/18
おはなしキャラバン参加	12/22
図書館児童室・書架整理ボランティア	月3-4回

行事

図書館見学

見学日	学校名	学年	人数
4月17日	第七小学校	3年	80人
5月1日	南第二小学校	3年	100人
6月7日	南第一小学校	3年	70人
6月8日	東小学校	3年	150人
6月14日	南第三小学校	2・3年	80人
6月22日	西小学校	3年	102人
9月21日	北小学校	3年	80人

職場体験受入

日付	学校	男	女	計
9月12日 - 9月14日	南中学校 2年生	2	3	5
10月24日 - 10月25日	第3中学校 2年生	0	3	3

インターンシップ受入

日付	学校	男	女	計
8月20日 - 8月26日	大阪芸術大学	0	1	1

学校おはなし会

日付	学校	クラス数	図書館 スタッフ	ふきのとう	さやまおはな しの会	計
10月3日	西小学校	19	3	13	8	24
11月9日	南第一小学校	12	2	9	8	19
11月26日	南第三小学校	9	2	8	5	15
12月7日	北小学校	15	2	12	4	18

製本講習会

実施年月日	10月13日、11月17日、12月8日 計3回
実施時間	13時 - 17時
実施場所	大阪狭山市立公民館 講習室、工作室
実施目的	製本のしくみについて学び本に親しむ。
実施内容	<p>第1回 10月13日 文集の製本 厚さ1センチのB5コピー用紙を本文とし布張りの本を製作する。</p> <p>第2回 11月17日 和本の製本 和本のしくみを学び、こよりでまとめた本文を糸で綴じて和本を製作する。</p> <p>第3回 12月8日 本の修理 本を分解し構造を知った上で修理実習をする。</p>
参加者数	第1回:9人 第2回:10人 第3回:10人 計29人
講師	キハラ株式会社 高尾氏、金田氏

ストーリーテリング入門講座

実施年月日	1月24日、2月7日、2月14日、2月21日、2月28日 計5回
実施時間	10時 - 12時
実施場所	大阪狭山市立公民館 多目的室、児童室(保育)
実施目的	おはなしの世界の楽しさを子どもたちに届けるストーリーテラーを養成する。
実施内容	<p>第1回 「ストーリーテリングとは」 おはなしの本を借りて帰り、自分の好きなおはなしを選ぶ。</p> <p>第2回 「おはなしを選ぶ」 おはなしの出典本、読み比べ 自分の好きなおはなしは見つかりましたか？</p> <p>第3回 「おはなしを覚える」 語りたいおはなしを読む</p> <p>第4回 「おはなしを語る」 覚えてきたおはなしを語る</p> <p>第5回 「おはなしの部屋でおはなし会」 さあ、おはなしの部屋でおはなしを語りましょう！語り手の誕生です。</p>
参加者数	第1回:11人 第2回:12人 第3回:13人 第4回:15人 第5回:16人 のべ67人
講師	美原おはなしスプーンの会 5名

研修実績

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
トーハン児童書展示会、 大阪市立中央図書館見学	トーハン	5/21- 5/22	トーハン大阪 大阪市立中央図書館	5名
おはなし会研修 (野の花文庫 岩出景子さん)	大阪狭山市立図書館	5/31	大阪狭山市立図書館	スタッフ 全員
ストーリーテリング研修 (ふきのとう 南川さん、樋口さん)	大阪狭山市立図書館	7/31	大阪狭山市立図書館	スタッフ 全員
MARC 研修 (TRC データ部 鈴木さん)	大阪狭山市立図書館	7/31	大阪狭山市立図書館	スタッフ 全員
平成 19 年度新任図書館長研修	文部科学省ほか	8/28- 8/31	大阪府立中央図書館、 大阪市立中央図書館	1名
TRC ライブラリースタッフ 「レベルアップ講座」関西地区	TRC	9/10	大阪市立中央図書館	4名
大阪府図書館司書セミナー 第2回 「高齢社会における図書館のあり方」	大阪府教育委員会	10/4	大阪府立中央図書館	1名
- 読書支援講座 - 10代の読書はおもしろい！！	JPIC(出版文化産業振 興財団)	10/6	OBP ツイン 21	1名
第3回レファレンス協同データベース事業 担当者研修会	国立国会図書館	10/11	国立国会図書館 関西館	1名
大阪府図書館司書セミナー 第3回 「レファレンスサービスについて」	大阪府教育委員会	10/18	大阪府立中央図書館	1名
普通救命講習	大阪狭山市消防署	10/22	大阪狭山市消防署 ニュータウン出張所	1名
TRC ライブラリースタッフ「レベルアップ講 座」関西地区	TRC	10/26	大阪市立中央図書館	3名
大阪府図書館司書セミナー第4回 「『市役所の図書室』の行政支援サービ ス」	大阪府教育委員会	11/2	大阪府立中央図書館	1名
志木ブックナリー見学、 第9回図書館総合展	TRC、図書館総合展運 営委員会	11/7	志木ブックナリー、 パシフィック横浜	1名

研修名称	主催	日付	研修場所	参加人数
図書館見学(千代田区立千代田図書館、 浦安市立図書館中央図書館)		11/8		1名
平成19年度科学技術情報研修 - 専門資料群とテーマ別情報源 -	国立国会図書館	11/8- 11/9	国立国会図書館 関西館	1名
大阪公共図書館協会研修会 第1回 図 書館とそのミッション	大阪公共図書館協会	11/14	大阪府立中央図書館	1名
図書館ブックフェア 2007	TRC	11/14- 11/16	トーハン大阪	5名
大阪公共図書館協会研修会第2回 『これからの図書館像(平成18年3月)』 の「5つ」の課題	大阪公共図書館協会	11/16	大阪府立中央図書館	1名
大阪公共図書館協会研修会第3回「図書 館が日本を救う!」ための「7つ」の条件	大阪公共図書館協会	11/21	大阪府立中央図書館	1名
大阪公共図書館協会参考業務実務研修 A-1 基本・一般資料	大阪公共図書館協会	12/13	大阪府立中央図書館	1名
大阪公共図書館協会参考業務実務研修 A-2 基本・郷土資料	大阪公共図書館協会	1/22	大阪府立 中之島図書館	1名
TRC ライブラリースタッフ 「レベルアップ講座」関西地区	TRC	1/25	大阪市立中央図書館	2名
大阪公共図書館協会参考業務実務研修 B 専門別3日コース	大阪公共図書館協会	2/1、 2/7、 2/14	大阪府立中央図書館	1名
平成19年度図書館地区別研修(近畿地 区)	文部科学省、奈良県教 育委員会	2/5- 2/7	奈良県立図書情報館	2名
大子連児童文化講座「赤ちゃんと絵本」	大阪府子ども文庫連絡 会	2/12	大阪市立中央図書館	1名
デジタル録音機 DR-1 を使った録音研修	大阪府立中央図書館	2/14	大阪府立中央図書館	2名
日本図書館研究会 第49回研究大会	日本図書館研究会	2/17	桃山学院昭和町 校舎C館	1名
大阪府子ども読書活動推進事業 「10代の子どもの読書を考える」	大阪府教育委員会、大 阪国際児童文学館	3/4	ホテルアウィーナ 大阪	1名
平成19年度児童奉仕実務研修特別講座 「わらべうたってたのしいね」	大阪公共図書館協会	3/6	大阪府立中央図書館	1名

受入新聞・雑誌一覧

購入新聞一覧

	紙名	保存期限
1	産経新聞	永年
2	朝日新聞	1年
3	読売新聞	
4	日本経済新聞	
5	毎日新聞	
6	サンケイスポーツ	

寄贈新聞一覧

	紙名	保存期限
1	解放新聞	1年
2	月刊 ODA 新聞	
3	民団新聞	
4	国際協力新聞	
5	こどもの国新聞	
6	金剛コミュニティ	
7	昭和	
8	日本語教育新聞	
9	Hometown	
10	M・A・P 新聞	
11	赤十字新聞	
12	高校生新聞	

購入雑誌一覧

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
1	アエラ	朝日新聞社	週刊	6か月
2	あまから手帖	クリエテ関西	月刊	1年
3	新しい住まいの設計	扶桑社	月刊	1年
4	アサヒカメラ	朝日新聞社	月刊	1年
5	アニメージュ	徳間書店	月刊	1年
6	アスキー	アスキー	月刊	1年
7	家の光	家の光協会	月刊	1年
8	With	講談社	月刊	1年
9	ESSE	扶桑社	月刊	1年
10	大相撲	読売新聞出版局	月刊	1年
11	オール読物	文藝春秋	月刊	1年

12	音楽の友	音楽の友社	月刊	1年
13	おしゃれ工房	日本放送出版協会	月刊	1年
14	活字倶楽部	雑草社	季刊	1年
15	関西ウォーカー	角川書店	隔週	6か月
16	関西のつり	岳洋社	月刊	1年
17	cancam	小学館	月刊	1年
18	家庭画報	世界文化社	月刊	1年
19	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	1年
20	きょうの健康	日本放送出版協会	月刊	1年
21	きょうの料理	日本放送出版協会	月刊	1年
22	クーヨン	クレヨンハウス	月刊	1年
23	暮しの手帖	暮しの手帖社	月刊	永年
24	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	1年
25	芸術新潮	新潮社	月刊	1年
26	月刊自家用車	内外出版社	月刊	1年
27	月刊 News がわかる	毎日新聞社	月刊	1年
28	月刊バスケットボール	日本文化出版	月刊	1年
29	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	1年
30	現代	講談社	月刊	1年
31	国民生活	国民生活センター	月刊	1年
32	こっこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
33	Cobalt	集英社	隔月	1年
34	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	週刊	6か月
35	碁ワールド	日本棋院	月刊	1年
36	ザ・スニーカー	角川書店	偶数月	1年
37	サライ	小学館	月2回	1年
38	3分クッキング	日本テレビ放送網	奇刊	1年
39	将棋講座	日本放送出版協会	月刊	1年
40	小説現代	講談社	月刊	1年
41	趣味の園芸	日本放送出版協会	月刊	1年
42	主婦の友	主婦の友社	月刊	1年
43	JJ	光文社	季刊	1年
44	JTB 時刻表	JTB パブリッシング	月刊	1年
45	週刊サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	週刊	6か月
46	週刊新潮	新潮社	週刊	6か月
47	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	6か月
48	週刊文春	文藝春秋	週刊	6か月
49	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	6か月
50	新潮 45	新潮社	月刊	1年

51	Swing JOURNAL	スイングジャーナル	月刊	1年
52	すてきな奥さん	主婦と生活社	月刊	1年
53	すくすく子育て	日本放送出版協会	月刊	1年
54	スキージャーナル	スキージャーナル	月刊	1年
55	スクリーン	近代映画社	月刊	1年
56	壮快	マキノ出版	月刊	1年
57	装苑	文化出版局	月刊	1年
58	短歌	角川学芸出版	月刊	1年
59	ダ・ヴィンチ	メディアファクトリー	月刊	1年
60	たしかな目	国民生活センター	月刊	1年
61	旅	日本交通公社	月刊	1年
62	旅の手帖	交通新聞社	月刊	1年
63	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
64	danchu	プレジデント	月刊	1年
65	中央公論	中央公論新社	月刊	1年
66	鉄道ファン	交友社	月刊	1年
67	テニスマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	1年
68	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	1年
69	東洋経済	東洋経済新報社	週刊	6か月
70	特選街	マキノ出版	月刊	1年
71	日経トレンディ	日経ホーム出版社	月刊	1年
72	日経マネー	日経ホーム出版社	月刊	1年
73	日経 PC21	日経 BP 社	月刊	1年
74	NEWTON	ニュートンプレス	月刊	1年
75	non-no	集英社	月2回	1年
76	俳句	角川学芸出版	月刊	1年
77	ぴあ(関西版)	ぴあ	週刊	6か月
78	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	1年
79	BE-PAL	小学館	月刊	1年
80	婦人公論	中央公論新社	月2回	1年
81	婦人之友	婦人之友社	月刊	1年
82	FINEBOYS	日之出出版	月刊	1年
83	Fishing Cafe'	シマノ	季刊	1年
84	プラスワンリビング	主婦の友社	隔月	1年
85	プレジデント	プレジデント社	月2回	1年
86	文藝春秋	文藝春秋	月刊	1年
87	VERY	光文社	月刊	1年
88	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	1年
89	ミステリマガジン	早川書房	月刊	1年

90	ミセス	文化出版局	月刊	1年
91	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	1年
92	ムー	学習研究社	月刊	1年
93	モダンリビング	アシェット婦人画報社	隔月	永年
94	MORE	集英社	月刊	1年
95	MOE	白泉社	月刊	1年
96	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	1年
97	YOMIURI PC	読売新聞出版局	月刊	1年
98	歴史街道	PHP 研究社	月刊	1年
99	ROCKIN 'ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	1年

寄贈雑誌一覧

	誌名	出版社名	発売周期	保存期限
1	あうる	NPO 図書館の学校	月刊	永年
2	WEDGE	文芸社	月刊	1年
3	WellAge Woman	ウェルエイジ	季刊	1年
4	FFI ジャーナル	FFI ジャーナル編集委員会	月刊	1年
5	外交フォーラム	都市出版	月刊	1年
6	関西俳句	関西俳詩連盟	季刊	1年
7	Cabi ネット	時事画報社	月2回	1年
8	Good リフォーム	リクルート	隔月	1年
9	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	永年
10	COMPASS	リックテレコム	季刊	1年
11	CEL	大阪ガスエネルギー 文化研究所	季刊	1年
12	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	1年
13	Jica	国際協力機構	月刊	1年
14	醸界春秋	醸界通信社	月刊	1年
15	消費者情報	関西消費者協会	不定期	1年
16	時の動き	大蔵省印刷局	月2回	1年
17	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	永年
18	PHP	PHP 研究所	月刊	1年
19	武道	日本武道館	季刊	1年
20	FOOD FUNCTION	国際食品機能学会	不定期	1年
21	まみたん	ぱど	月刊	1年
22	ミルククラブ	創季社	不定期	1年
23	予防時報	日本損害保険協会	季刊	1年
24	留学ジャーナル	国際文化協力センター	季刊	1年
25	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	1年

条例・規則等

大阪狭山市立図書館条例

平成 17 年 9 月 27 日

条例第 35 号

大阪狭山市立図書館条例(昭和 28 年大阪狭山市条例第 34 号)の全部を改正する。

(設置)

第 1 条 図書館法(昭和 25 年法律第 118 号。以下「法」という。)第 10 条の規定に基づき、大阪狭山市立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
大阪狭山市立図書館	大阪府大阪狭山市今熊一丁目 106 番地

(事業)

第 3 条 図書館は、次に掲げる事業を行うものとする。

法第 3 条各号に掲げる事業

(2) 前号に掲げるもののほか、図書館の目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第 4 条 図書館の管理は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であって、大阪狭山市教育委員会(以下「委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 図書館の施設及び設備の維持管理に関する業務

(2) 第 3 条各号に掲げる事業の計画及び実施に関する業務

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

(開館時間)

第 6 条 図書館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 15 分までとする。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、委員会の承認を得て、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 7 条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、委員会の承認を得て、臨時に開館し、又は休館することができる。

(1) 毎月の末日

(2) 12 月 29 日から翌年 1 月 4 日まで

(3) 特別整理期間(毎年 1 回 10 日以内の範囲で指定管理者が定める日)

(入館の制限)

第 8 条 指定管理者は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を制一限し、又は退館を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。

(2) 図書館の施設・設備・図書館資料その他の物件を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらの行為をするおそ

れがあるとき。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認めるとき。

(利用の制限)

第 9 条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の規定並びに指定管理者の指示に違反した者に対しては、図書館資料の利用を一時停止し、又は禁止することができる。

(図書館資料の貸出し)

第 10 条 図書館資料の貸出しを受けることができるものは、次のとおりとする。

(1) 本市の区域内に住所を有する者

(2) 本市の区域内に存する事務所又は事業所に勤務する者

(3) 本市の区域内に存する学校に在学する者

(4) 他の図書館、公民館、学校その他の教育機関

(5) 市内の地域団体、職域団体及び社会教育関係団体

(6) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要と認めるもの

(損害賠償)

第 11 条 図書館の施設、設備、図書館資料その他の物件を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(委任)

第 12 条 この条例に定めるもののほか、図書館の管理及び運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

大阪狭山市立図書館管理運営規則

平成 18 年 2 月 24 日

教委規則第 4 号

大阪狭山市立図書館管理運営規則(昭和 58 年教委規則第 3 号)の全部を改正する。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、大阪狭山市立図書館条例(平成 17 年大阪狭山市条例第 35 号。以下「条例」という。)

第 12 条の規定に基づき、大阪狭山市立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(館長等)

第 2 条 図書館に館長その他必要な者を置く。

(利用の手続)

第 3 条 図書館資料(以下「図書」という。)の個人貸出しを受けようとする者は、図書利用カード(様式第 1 号)を指定管理者(条例第 4 条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に提示しなければならない。

2 前項の図書利用カードの交付を受けようとする者は、条例第 10 条第 1 号から第 3 号までのいずれかに該当するものであることを証明できる書類等を提示し、大阪狭山市立図書館館外貸出申込書(様式第 2 号)を指定管理者に提出しなければならない。

(図書利用カードの有効期間)

第4条 図書利用カードの有効期間は、5年間使用がない場合に限り無効とする。

(貸出冊数)

第5条 図書利用カードにより貸出しを受けることのできる図書の冊数は、1人10冊以内とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、この限りでない。

2 前項本文の場合において、未返納の図書があるときは、その冊数とあわせて10冊を超えることができない。

(貸出期間)

第6条 図書利用カードによる図書の貸出期間は、当該図書の貸出しを受けた日の翌日から起算して2週間とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、この限りでない。

(団体貸出し)

第7条 図書の団体貸出しを受けようとする団体(条例第10条第4号又は第5号に該当するものに限る。)の代表者は、大阪狭山市立図書館団体登録・館外貸出申込書(様式第3号)を指定管理者に提出しなければならない。

(団体貸出冊数及び貸出期間)

第8条 団体貸出しに係る図書の貸出冊数は、当該団体等の規模等に応じて指定管理者が指定し、貸出期限は6箇月以内とする。ただし、指定管理者が必要と認める場合は、その冊数及び期間を別に指定することができる。

(貸出しをしない図書)

第9条 貸出しをしない図書は、次のとおりとする。

- (1) 貴重図書
- (2) 特別集書図書
- (3) 前2号に定めるもののほか、指定管理者が指定する図書

(図書利用カードの紛失の届出)

第10条 利用者は、図書利用カードを紛失したときは、大阪狭山市立図書館図書利用カード再発行申込書(様式第4号)により、直ちに指定管理者に届け出なければならない。

(変更の届出)

第11条 利用者は、第3条第2項及び第7条に規定する館外貸出申込書の記載内容に変更が生じたときは、大阪狭山市立図書館館外貸出申込書変更届(様式第5号)により、直ちに指定管理者に届け出なければならない。

(図書の紛失)

第12条 貸出中の図書を紛失し、又は損傷したときは、大阪狭山市立図書館図書資料紛失・損傷届出書(様式第6号)を指定管理者に提出し、その損害を賠償しなければならない。

2 前項に規定する図書の損害は、現物をもって弁償するものとする。ただし、現物での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償しなければならない。

3 利用者が児童等の場合は、保護者がその責務を負うものとする。

4 貸出中の資料が火災による焼失の場合は、り災証明をもって免除する。

(寄贈及び寄託)

第13条 大阪狭山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、大阪狭山市立図書館資料の寄贈・寄託申込書(様式第7号)により、図書の寄贈又は寄託の申出を受けることができる。

(委任)

第 14 条 この規則の定めるもののほか、図書館の管理及び運営について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に図書館から図書の貸出しを受けている者は、この規則による改正後の大阪狭山市立図書館管理運営規則の規定により、図書の貸出しを受けた者とみなす。

大阪狭山市立図書館資料選定基準

(主旨)

第 1 条 この要領は、大阪狭山市立図書館資料収集規定に基づき、図書館の資料選定にあたっての具体的な判断基準を定める。

(一般図書、参考図書選定基準)

第 2 条 一般図書、参考図書の選定基準は、次のとおりとする。

(1) 一般図書は、市民の教養、調査研究、レクリエーションに資するため、基礎的、入門的な図書から概説書、専門書まで各分野わたり幅広く収集する。ただし、学習参考書、各種試験問題集は、原則として収集しない。

(2) 参考図書は、市民の日常の調査研究に必要な事典、辞典、年鑑、図鑑、人名事典、地図、年表、書誌、目録などを収集する。

(一般図書、参考図書選定の留意点)

第 3 条 前条の原則をふまえた上で、日本十進分類法による各分野の選定にあたっての留意点は、次のとおりとする。

(1) 0 類 総記

ア 技術革新が著しく、社会的影響も大きい情報科学は、最新の情報を収集するように努める。

イ 図書館に関する資料、書誌、目録等は、積極的に収集する。

ウ 市民に多様な本の世界を紹介したものは、積極的に収集する。

エ 百科事典は、類書も含めて最新版に留意し、豊富に収集する。

オ 年鑑は、レファレンスに役立つものを収集する。

(2) 1 類 哲学・心理学・宗教

ア 哲学、心理学、宗教については、初学者のための入門書、概説書に留意し、各分野の代表的原典を含めた基本書を体系的に収集する。

イ 超心理学、易占については、できる限り科学的な立場から記述された資料を収集する。

(3) 2 類 歴史・伝記・地理

ア 歴史については、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、概説書、研究書、史料まで、多様なレベルのものを収集する。また、様々な歴史観に立って書かれたものを広く収集する。

イ 伝記については、人名事典等レファレンスに役立つものを豊富に収集する。

ウ 地図、旅行案内については、最新版に留意し、正確な情報を提供できるように努める。

(4) 3 類 社会科学

ア 社会科学は、その時代性と深く結びついている分野なので、今日的主題を重視し、入門書、概説書を中心に新鮮な資料を収集する。

イ 法律、経済、社会、家庭教育、風俗習慣等、日常生活及び実務上に必要な実用書、実務書は豊富に収集する。

ウ 社会評論は、様々な観点から書かれたものを広く収集する。

エ 法律については、法律改正に留意し、新しい情報を提供できるように努める。また、法令集、判例集は、広く収集する。

オ 社会保障、女性・高齢者問題、社会福祉等、社会的関心の高いものは、積極的に収集する。

(5)4 類 自然科学

ア 自然科学は、その進展が著しい分野なので、最新の情報を提供できるよう留意する。

イ 自然科学の各分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の専門的な学術書は、原則として収集しない。

ウ 図鑑等、レファレンスに役立つものは、豊富に収集する。

(6)5 類 技術・工学・生活科学

ア 科学技術は、その進展が著しい分野なので、最新の情報を提供できるよう留意する。

イ 極めて専門的な学術書は、原則として収集しない。

ウ 趣味や実用に役立つ資料は、豊富に収集する。

エ 通信工学については、最新の情報に留意し収集する。

(7)6 類 産業

ア 園芸やペットの飼い方等、趣味に役立つ資料は豊富に収集する。

イ ビジネスや産業経営に役立つ資料を収集する。

(8)7 類 芸術

ア 市民の教養、趣味、娯楽に役立つ資料を鑑賞・研究と創作・実技等の両面にわたり広く収集する。

イ 趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に収集する。

また、ある程度上級の人々の要望にこたえられるよう留意し収集する。

ウ 美術全集、画集、写真集等は、基本的なものを中心に収集する。ただし、高価なものが多いので、利用度と価格のバランスに考慮する。

(9)8 類 言語

ア 市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。

イ 辞典類は、基本的なものを中心に収集する。また、一部貸出しできるものも用意する。

(10)9 類 文学

ア 市民の利用が最も多い分野なので、豊富な資料を収集する。

イ 文学理論、文学史については、入門書、概説書を中心に収集する。

ウ 古典的作品は、文学史上評価の高い作品を中心に収集する。

エ 現代作家の作品は、受賞作品や話題性に留意し、広く収集する。

(11)漫画

ア テーマ、ストーリー、素材の扱い方等を検討し収集する。

イ 受賞作品や話題になった作品に留意し収集する。

(児童図書選定の留意点)

第5条 児童図書は、幼児から中学生まで、どの年齢の子どもにも読書の楽しみを発見し継続できるように、それぞれの発達段階を考慮し、絵本、幼年文学、児童文学、科学読物・実用書などを各分野にわたり幅広く収集する。ただし、学習参考書、各種問題集は、原則として収集しない。

2 資料は、原則として子ども向けとして出版されたものを収集する。ただし、大人向けに出版されていても、子どもが関心を持って読むことができるものは、収集の対象とする。

3 受入れた本については、その後の子どもたちの利用状況や評価を見ながら検討し、さらに資料選定に生かしていく。

(児童図書選定の留意点)

第5条 前条の原則をふまえた上で、各分野の選定にあたっての留意点は、次のとおりとする。

(1) 科学読物・参考図書・実用書

ア 自由研究、調べ学習に役立つものであること。

イ 写真や図版が豊富で、分かりやすく記述されていること。

ウ 新しい情報や研究成果に基づく内容であること。

エ 趣味やスポーツ等の実用書については、入門書(鑑賞、実技、ルール等)から、やや高度なものまでを収集する。

オ 学習漫画については、主題・内容等を検討し収集する。

(2) 絵本

ア 絵が見るものにうたえかける力を持っていること。

イ 絵がストーリーを語っていること。

ウ 絵と文が一体化されていること。

エ 様々な言語で書かれたものを必要に応じて収集する。

(3) 文学

ア それぞれの発達段階を考慮し、どの年齢の子どもにもこたええられるものを収集する。

イ 古典から現代の作品まで、また、昔話・伝説、フィクション・ノンフィクションまでの各ジャンルを幅広く収集する。

(逐次刊行物選定基準)

第6条 新聞は、国内発行の主要な日刊紙を中心に各種新聞を収集する。

収集するジャンルは、次のとおりとする。

(1) 全国一般紙

(2) 夕刊紙

(3) スポーツ紙

(4) 南河内を中心としたミニコミ紙

(5) その他、経済、英字・政党機関紙・子ども向け新聞など

2 雑誌は、新鮮で豊富な情報が得られる資料なので、市民の暮らしや楽しみに役立つもの、調査研究に役立つものを中心に、できる限り多くの種類の収集に努める。

なお、海外で発行された雑誌についても収集する。ただし、漫画雑誌は、原則として収集しない。

主要な収集分野は、次のとおりとする。

(1) 総合雑誌

(2) 出版情報に関する雑誌

(3) 時事に関する雑誌

(4) 文芸雑誌

(5) 女性雑誌

(6) 生活情報誌

- (7) スポーツに関する雑誌
 - (8) レジャーに関する雑誌
 - (9) 芸術に関する雑誌
 - (10) 人文科学・社会科学・自然科学の基本的な雑誌
 - (11) 南河内を中心とした地域ミニコミ誌
 - (12) 子ども向け雑誌
- (郷土資料選定基準)

第7条 郷土を知り郷土に対する正確な認識を得るための資料は、地元の図書館が責任をもって積極的に収集する必要がある。大阪狭山に関連する資料や大阪狭山で発行された資料は、地域的に限定されており、誰もがいつでも入手できるとは限らないからである。

図書館は、歴史的・文化的資料から今日的な資料まで幅広く、また、他地域資料も十分に視野に入れ、図書(活字本)、逐次刊行物(新聞・紀要・地域ミニコミ誌、同人誌等)、行政資料、パンフレット・チラシなど、資料の種類にも留意し収集する。

(視聴覚資料選定基準)

第8条 視聴覚資料は、活字以外のメディアによる情報伝達手段である。文字言語によって得られにくい知識や情報をわかりやすく紹介しているものに留意して、ビデオ・テープ、ビデオ・ディスク、オーディオ・テープ、オーディオ・ディスク等を収集する。また、視覚・聴覚障害者等の利用に供する資料も収集する。

2 紙芝居は、印刷紙芝居だけでなく、街頭紙芝居や手づくり紙芝居についても収集する。

以下の点に留意し収集する。

- (1) 紙芝居は、絵を抜くときに動きを表すことができる。この性質を生かし、絵に動きのあるもの。
- (2) 絵と語りが調和しているもの。
- (3) はっきりとした輪郭と色使いで、絵が遠くから見えるもの。
- (4) 脚本の場面割りに工夫がなされているもの。
- (5) 発想がおもしろいもの。

(障害者用資料選定基準)

第9条 視聴覚障害者等の利用に供するため、録音図書、点字資料、大型活字本等を収集する。

(その他の資料選定基準)

第10条 パンフレット、リーフレット等は、必要に応じて収集する。

(複本)

第11条 複本の扱いについては、次のとおりとする。

- (1) 地域資料は、閲覧できるように冊数の確保に努める。
- (2) 評価の定まった図書や利用の多い分野については、常に書架に並べておけるよう、図書館システム全体の中で必要な複本や類書を十分に用意する。
- (3) 資料を早く提供し利用者の信頼を高めるために、予約の集中する資料(ベストセラーや話題の本)については、複本を早い時期に揃えるように努める。

大阪狭山市立図書館資料収集規定

(趣旨)

第1条 この規定は、大阪狭山市立図書館管理運営に規定する図書資料(以下「資料」という。)の選択・収集にあたっての基本的な方針を定める。

(基本方針)

第2条 図書館は、公立図書館が資料提供を通じて、市民の学習する権利、知る自由を保障し、地域文化の創造に奉仕する機関であることを認識し、市民の資料要求に応えるとともに、その要求に役立つ資料を次の基本方針に基づき選択・収集する。

- (1) 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を収集する。
- (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- (3) 図書館職員(以下、「職員」という。)の個人的な関心や好みによって資料の選択をしない。
- (4) 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- (5) 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館及び職員が支持することを意味するものではない。

(収集資料の種類)

第3条 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

- (1) 図書(一般図書・参考図書・児童図書)
- (2) 逐次刊行物
- (3) 郷土資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) その他

2 収集する資料は、国内で刊行された資料を中心とし、全分野にわたり幅広く収集する。ただし、洋書については必要に応じて収集する。

(資料選択の組織)

第4条 図書館には、資料の選択を行なうため、選定会議を設置する。

2 選定会議は、図書館長が主催し、指名した職員で組織する。

3 資料の選択についての最終責任は、図書館長とする。

4 前3項に定めるもののほか選定会議の組織と運営については、別に定める。

(資料に関する要求の尊重)

第5条 図書館は、常に市民の資料についての要求を把握し、収集に生かすように努める。

(資料の更新・除籍)

第6条 図書館は、常に新鮮で適切な資料構成を維持し、充実させるために資料の更新、除籍を行なう。

第7条 寄贈資料の受入についてもこの規定を適用する。

(公開)

第8条 図書館は、資料収集について、広く市民の理解と協力を得るため、市民の求めに応じ資料収集の基本方針を公開するものとする。

(委任)

第9条 この規定に定めるもののほか、資料収集に関して必要な事項は、別に定める。

図書館年報 平成 19 年度

平成 21 年 3 月 31 日発行

編集・発行 大阪狭山市立図書館

指定管理者 (株)図書館流通センター

〒589-0021

大阪府大阪狭山市今熊 1 丁目 106

TEL : 072-366-0071

FAX : 072-066-0052

<http://www4.city.osakasayama.osaka.jp/>